

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 コレクティブ	代表者	川原秀夫	法人・ 事業所 の特徴	地域の中で安心して暮らし続けられるよう、地域の力をつなぎ、結びつけ、地域の人とともに支える。どれだけ重度の認知症の人でも、尊厳ある暮らしを実現する。可能な限り、自らの持てる力を発揮し、生きる力を生み出し、普通の暮らしを継続できるように支援する。
事業所名	小規模多機能ホーム きなっせ	管理者	坂本陽一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	4人	1人	1人	1人	人	2人	2人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所評価1～6の計画について、利用者1人を取り上げ項目すべてに取り組み、モニタリングをする。その流れで他利用者に関しても順次取り組む。 運営推進会議で、評価7～9も含め取り組み状況を報告し、意見をもらう。	利用者一人だけではなく数名計画に対し取り組むことができた。それ以上に本人、家族、スタッフの達成感を得ることができたことはよかった。 運営推進会議で取り組み状況報告を行い、いただいた意見をスタッフミーティングで活用できている。	スタッフ全員が参加してミーティングを行っていることはすばらしい。大変だが今後も続けてほしい。スタッフ個々の意識の差を縮めて共通の意識を共有していくよう引き続きお願いしたい。	事業所自己評価と総括表の改善計画(30年度取り組むこと)を一覧にし、スタッフ全員が常に目にできる(玄関掲示場所、日誌表紙)に置き、全スタッフが日常的に取り組む意識をもつようにする。運営推進会議で取り組み状況を確認してもらう。
B. 事業所のしつらえ・環境	外部から来た人が分かるように、事業所の庭・駐車場・貸家に看板を設置する。	利用者、スタッフ、地域の方々と協力して設置することができた。 (貸家のみ未設置) 制作にかかわった利用者も他の方も、設置したのを見て喜ばれていた。	事業所内は清潔がよく保たれ、落ち着いた雰囲気になっている。 事業所内の居心地は利用者が思う事であって、なんとも返事できない。	事業所内の居心地(空間、音、臭い)が適切かどうか、利用者や来所する機会のある家族に聞き、改善する。その一連のことについて、運営推進会議において報告を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域交流を目的とし、貸家で利用者が中心となり用意をし、地域の人たちが立ち寄れるカフェを開催する。	ゆるかふえ和と称しパン作りを主にして月1回ではあるが開催し、地域の方、利用者の方とのつながりが出来てきている。	広報誌など広報活動がよくなされていると思うが、地域の方がどの程度知っているかはわからない。かふえの参加人数は増えた。もっと近辺の人も含めて出来たらどうか。	月1回のパン教室の他にも、地域で得意分野を持った方を見つけてゆるかふえ開催の回数を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者と一緒に、近所の関わりがあるような人のところへ出向く。その際、事業所のことを紹介したパンフレットを渡し、事業所のことを知ってもらえるようにする。	2か月に1回発行している広報誌を事業所パンフレットとして、利用者の暮らす近所の方や知人などに配り、事業所のことを知ってもらえるように取り組んだ。利用者とのつながりに役立てた。	アセスメントシートを作成したり知り得た情報の記録の共有もできている。 個々のしたいことへの取り組みは広報誌から読み取れる。 センター方式A-4シートを作成しているので、有効に活用してほしい。	事業所評価4の計画実行で得た情報(センター方式A-4)にあがった人・場所のところへ利用者と一緒に出向き広報誌を渡したり、カンファレンス参加を呼び掛けるなど、継続した関わりを行い、本人の地域での暮らしを支える取り組みを考える。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>カフェ開催（項目 C）について、地域の方々とコラボしてすすめているよう会議において提案、意見をもらい、取組みにつなげる。</p>	<p>会議やカフェ開催時など新たな取組みについて話はしたが、具体的な取組みにつながる所までは至っていない。</p>	<p>会議を通し地域の方との顔の見える関係ができ、サロンやゆるかふえ等つながっており、とても有効だと思う。家族会・つどいへの発展もできないか。今後、利用者に限らず、地域での心配事などに対する取組み検討（利用者だけでなく）も大事になると思う。 かふえをしている貸家は、人が常駐していて近所の人可以自由に立ち寄れる場できないか。</p>	<p>事業所が借りている家の活用方法（人が常駐して近所の人立ち寄れる場に、という現在出ている意見も含め）を運営推進会議で検討、実行する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・熊本地震での経験を踏まえ、防災マニュアルの見直しを行い、運営推進会議において提示、検討を行う。</p>	<p>マニュアルの見直しは現在とりかかっているが出来ておらず運営推進会議へ提示、検討は行えてはいない。 年2回ある訓練の後にスタッフ間で災害時の対応等について話し合った。</p>	<p>火災時は事業所周辺の人たちが一番頼り。日頃からあいさつをしておくことよい。 事業所の設備を再確認して、現状に即したマニュアルの見直しが早急に必要と思う。</p>	<p>事業所や利用者の今の実情に即した防災マニュアルを作成し、運営推進会議において提示、検討を行う。</p>